

# 新しい公共支援事業構成事業「寄附促進に向けたNPO認知度向上事業」 事業企画提案書

平成 24 3月 9日

神奈川県知事 殿

住 所 横浜市中区相生町 3-61 泰生ビル 2F

郵便番号 231-0012

団体名 特定非営利活動法人横浜コミュニティデザイン・ラボ

代表者職・氏名 代表理事 杉浦 裕樹

寄附促進に向けたNPO認知度向上事業について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

提案する 事業の別	いずれか該当する番号に○をつけてください。 [B：かながわ寄付をすすめる委員会企画] ③ 寄付の仕組みの充実 ④ 次世代に寄付への理解を広げる学習プログラムの開発・普及 ⑤ NPOへの寄付の定着を促すプログラムの実施
事業計画の 概要	本提案は神奈川県全域において NPO への寄附定着を促すことを目的とした事業を提案するものである。震災をきっかけに市民が各 NPO を身近に感じる機会が増えてきているものの、彼らが十分な情報発信が出来ているとは言い難く、共感が生み出せていないケースが多い。今回の取り組みである「Challenge Charity Action ~共感を呼ぶ「チャリティーアクション」コンテスト~」を通じて、今までボランティアとして関わることが少なかったクリエイターが NPO の“情報発信”をデザインすることを通じて、NPO から市民への今までにない広報を可能にし、新しい共感を生み出すことを狙いたい
委託料 見積金額	3,000,000 円
応募理由	当 NPO は、まちづくりにおいて ICT (情報コミュニケーション技術) を活用して、価値ある活動主体の所在情報を地域社会に「つなぐ」事業を活動の軸としている。2004 年から継続運営をしているヨコハマ経済新聞、2011 年に始動した県広報課との協働事業「かなマガ.net」、「かなチャリ」等の Web メディアや、twitter・facebook などのソーシャルメディアの運営で培ったノウハウと社会関係資本を本事業にフルに活かしていきたい。 社会的な課題の改善のために金銭や時間等を提供できる市民を対象に、地域社会への貢献に対する関心を引き起こし、NPO 等に対する支援・参加を促す本事業に、我々が持つ地域活性化の担い手や、クリエイター、起業家をはじめ地域で価値ある活動をするさまざまな主体との関係を活かせると考えて、応募します。



## 実施計画書

### 1 現状認識と課題認識

経済社会の成熟、個人の価値観が多様化、少子高齢化等で、行政による公共サービスだけでは社会の多様なニーズを満たすことが難しくなり、民間企業と並んでNPOなどの民間セクターの役割が期待されている。これまで行政が担ってきた「公共」を、市民・事業者・行政の協働によって実現していく必要があるという認識が広まってきている。

神奈川県内には2,600法人を超えるNPO等が活動しており、新しい公共の担い手としてその活動が期待されている。

NPO等の活動は、会費や寄附金、事業収入などによって賄われている。欧米では数万人、数十万人単位の会員の支援や、多額の寄附金を受けて活動している団体も少なくないが、日本では活動団体のアピール不足、国民の理解不足、寄附金に対する税制優遇制度が十分でなかったことなどから、財政面で困難を抱えている活動団体が多い。

**NPO等では、事業を運営していくことが精一杯で、広報にリソースを割けないことが多い。広報担当がいても、最先端のICT（情報コミュニケーション技術）を使いこなしているケースは少ない。**より多くの市民の関心を喚起して、地域の公益的活動に参加を促進したり、寄附アクションを起こしていくためには、WEBやソーシャルメディア等の最先端のツールを効果的な活用や、共感を呼び起こすための情報編集の技術やノウハウが必要である。

クリエイターがNPOをプロボノ（専門性を持つボランティア）の形で支援することが出来ると理想的だが、**「NPOがクリエイターと出会う機会」**は少ない。**両者のニーズとシーズをつなぎ、協働を後押しするマッチング事例をつくり、実際に寄付アクションの成功体験を創出することが、今後の寄付文化の醸成に寄与できると考える。**

### 2 事業の具体的内容

#### (1) 提案に生かした提案者の特性や専門性

提案に生かした提案者の特性や専門性

横浜コミュニティデザイン・ラボには、現在約151の会員がいる（うち団体会員22）、事業型NPO法人。会員をはじめとする、多種多様な団体・人材との連携による、地域の魅力や価値の発信や、地域が抱えるさまざまな課題について、主として「取材・編集・配信・現場作り」をソリューションとして解決に努める事業を展開してきた。

具体的には、2004年から配信を始めたWEBメディア「ヨコハマ経済新聞」の活動を軸に「地域をよくしたい/課題を解決したい」という公益的な志向性を持つ人材・団体と数多く接触し、ニュースを作り、イベントを実施してきた。

2007年より地域SNS「ハマっち！」（横浜市民3000人が登録）の運営支援や、twitterの活用を開始するなど、NPO法人としては他に先駆けてソーシャルメディアを使ってきた。特に、居場所のない青少年支援の必要性をPRするビデオの制作（横浜市からの受託）や、主婦やリタイヤ層、市民活動団体リーダーなどを対象とした地域レポーター養成講座（総務省交付金事業）など、公益的活動のPR/広報支援/発信者育成などに力を入れて取り組んでいる。

代表理事の杉浦は総務省・地域情報化アドバイザーを経験したほか、関東ICT推進NPO連絡協議会神奈川県幹事を務めている。また、「みんなの経済新聞ネットワーク」のネットワーキングを担当し、当法人が独自運営するWEBニュース「ヨコハマ経済新聞」「港北経済新聞」のほか、「湘南経済新聞」「小田原箱根経済新聞」「横須賀経済新聞」と連携し、現在FMヨコハマ「Keep Green & Blue」、県広報課からの委託事業「かなマグ.net」などのWEBサイトをソーシャルメディアを活用して、日々、編集・配信を行っている。

また、SNSについては2004年よりNPOの研究テーマとして掲げ、2007年より横浜で地域SNS「ハマっち！」の運営などを通じ、オンラインコミュニケーションと地域のリアルな現場を組み合わせ、活性化を促す出会いを創出するノウハウを蓄積してきた。**上述の活動の中で多くのクリエイター・NPOと協働するケースが多く、両者のニーズを的確に捉えることが可能。**

## (2) 提案の内容

### ⑤ NPO への寄付の定着を促すプログラムの実施

#### ●寄付促進イベント企画：

「Challenge Charity Action !! ～共感を呼ぶ「チャリティーアクション」コンテスト～」  
＜NPO 等とクリエイターのコラボで寄付集めのための情報発信！＞

NPO 等とクリエイターのコラボレーション機会をつくり、寄附集めのための優れた「情報デザイン」の事例をつくる。共感を呼ぶ情報発信を競うコンテストイベントを軸に、WEB・紙・マスメディア等を連動し、市民・企業等が寄付をする対象の活動や、その社会的意義を知るきっかけとなる情報を多様なチャネルから提供する。

#### (ア) プログラムの狙いやターゲットとする対象

新しい公共の担い手として、公益的な地域活動等に関わる機会がなかったクリエイターが、NPO 等のプロジェクトへの寄付集めを支援するための「情報デザイン」をサポートすることで、魅力的で共感を呼び起こす、**寄付集めの情報発信のモデル事例**となるような情報発信が可能となる。

寄付を集めたい NPO 等と、社会に貢献したいデザイナー、ライター・編集者、クリエイティブディレクター、コピーライター、映像制作者、WEB 技術者等のマッチングを行い、寄付集めアクションの成功モデルを多数つくりだすことで、実際に寄付を集める成果が期待できるほか、NPO 等・クリエイター双方の「情報デザイン力」の向上を図ることができる。また、社会的な評価が得られやすい NPO 等の活動は、メディアやオンラインコミュニティで取り上げられやすく、本事業や、NPO 等の活動を発信する上で、パブリシティや口コミ効果が期待でき、寄付促進のキャンペーン全体にも貢献できると考える。

#### (イ) 具体的な取り組み内容

県内 NPO から寄付を集めたいプロジェクトを募集し、県内の優れたプロジェクトを 12 案件選出する。プロジェクトを WEB で公開し、支援するクリエイター等を募集。興味を持ちやすいように、魅力的に感じた NPO のクリエイティブやプロジェクトを投票形式で選択して、最終的に「どれだけ共感が出来たか」の結果が出るコンテストを開催。それによって、今まで NPO の活動に接することが少なかった神奈川県民が NPO を知り、寄附について検討をする機会を提供する。  
※12月1日(土)=NPO の日 に「コンテスト表彰式」を開催。

＜フェーズ①＞：県内 NPO から寄付を集めたいプロジェクトを募集 (5月下旬～7月中旬)

GOAL：県内の優れたプロジェクトを 12 案件選出 (7月末)

県内の「横浜・川崎及び横須賀三浦地域」「県央及び県北地域」「足柄上及び西湘地域」「湘南地域」の4地域から、それぞれ2～5件程度の公益的プロジェクトを募集。「プロジェクト名」「実施主体」「プロジェクトの目的・対象」「事業概要」「目標寄付額」等を記載し、WEB・メール・FAXでエントリーを受け付ける(自薦・他薦は問わない)。県内中間支援組織、マスメディア関係者、学識経験者、一線で活躍するクリエイター等からなる選考委員による選考会で12案件を選定する。

□募集～公開までのプロセス

①募集、エントリー受付：特設WEBサイト設置、チラシの配布、プレスリリース配信

▽特設WEBサイトの設置

本プログラムの全体像と、NPO等の寄付を集めたいプロジェクトの募集を告知するWEBサイトを設置する。

※特設WEBサイトは「かなチャリ」Web (<http://kanachari.jp>) 内に特設コーナーとして設置することが望ましい。(かながわ寄付をすすめる委員会、NPO協働推進課、かなチャリWeb運営事業者と協議の上決定を希望)。

▽「NPO等の寄付を集めたいプロジェクト募集チラシ」の作成・配布

クリエイター募集を主目的とするチラシを作成・配布する。

②対象プロジェクト選考会：7月末に実施

県内中間支援組織、マスメディア関係者、学識経験者、一線で活躍するクリエイター等からなる選考委員を選定（5月～6月中旬に就任を依頼し選定する）

③特設WEBサイトで12の対象プロジェクトを公開

選考会で選定した12の寄付を集めたいプロジェクトをWEBで紹介。プロジェクトを主催する団体のWebサイトにはリンクバナーを貼っていただく。

<フェーズ②>：プロジェクトを支援するクリエイター等を募集（8月上旬～10月上旬）

GOAL：寄付アクションを応援するクリエイター獲得・NPO等とマッチング（10月上旬）

NPO等とクリエイターの交流イベントを開催。（10月上旬）

12のプロジェクトをWEBで公開し、プロジェクトを応援したいクリエイターを募集する。募集期間中にクリエイター等を対象とするセミナーを県内4地域で各1回開催する。個人だけでなく、小規模のデザインオフィス、WEB制作会社、社会貢献に興味がある企業、任意団体（大学サークルなど）等に広く参加を呼びかける。クリエイターの応募を受けて、NPOとのマッチングを調整。10月上旬にNPO等とクリエイターの双方を対象とし「共感を呼ぶNPOの情報発信」をテーマとして、学びと交流を目的とするフォーラムイベントを開催する。

□クリエイター募集～マッチングまでのプロセス

①クリエイターの募集

▽「特設Webサイト」で募集を告知（8月上旬～10月上旬）

12の寄付を集めたいプロジェクトをWEBに掲載し、プロジェクトの概要、運営団体のプロフィール等を公開する。

同時に、寄付を集めたいプロジェクトを紹介する「Webページ」と「フライヤー」の制作をプロボノとして協力する志があるクリエイターの募集を開始する。クリエイターからは、12のプロジェクトの中から、支援したいと思う寄付アクションプロジェクトを3つ程度選んでエントリーしていただく。10月上旬に募集を締切り、NPOとのマッチング調整を行う。

▽「クリエイター募集チラシ」の作成・配布（5000枚）

クリエイター募集を主目的とするチラシを作成し、8月上旬から配布を開始する。チラシでは12の対象プロジェクトも紹介。10月上旬に実施する「NPOのクリエイティブ」フォーラム（仮称）と、12月1日（NPOの日）に開催する「表彰式」イベントの告知も兼ねる。

▽クリエイター向けセミナーの実施（9月中、4回実施、10～20人程度/1回）

クリエイター向けセミナーは県内4カ所（「横浜・川崎及び横須賀三浦地域」「県央及び県北地域」「足柄上及び西湖地域」「湘南地域」）で開催。セミナーは「欧米NPOのクリエイティブ事例を学ぶ」「感動する30secCM制作のノウハウ」「プロジェクトのブランディング手法」「ソーシャルメディア活用ノウハウ」等をテーマに、業界の一線で活躍するゲスト講師を招く。参加者には「ソーシャルメディア活用ノウハウ集」などの印刷物を提供する。実施場所：各地域の市民活動支援拠点等。

▽『共感を呼ぶ「NPOのクリエイティブ」フォーラム』（仮称）（10月上旬、1回実施）

NPO 広報担当者・ファンドレイジング担当者・NPO 活動を支援したいクリエイターを対象に、NPO 等の活動を社会につなぐための情報デザインやマーケティングの事例やノウハウを紹介するフォーラムイベントを開催。

内容は NPO 等のブランディングの成功事例や、公益的プロジェクトの広報の実績を持つゲストを招き、「基調講演」「パネルディスカッション」を行うほか、「エントリープロジェクト紹介」「クリエイター&NPO マッチング交流会」を想定。規模は 150~200 人程度。現場の様子は USTREAM でネット中継する。

※フォーラム当日までに、応募があったクリエイター（9 月下旬応募締切）と寄付を募集するプロジェクトをエントリーした NPO 等とのマッチングを行っておく。マッチングは、県内の 4 エリア毎に依頼する外部コーディネーター、受託事業者担当者、委託・事業推進側との協議の上で調整し、受託事業者のプロジェクトコーディネーターが中心になって行う。

※クリエイター向け雑誌・WEB コミュニティ、クリエイターエージェント、スクール等との連携を図る

ex. 宣伝会議、CREATORS BANK、アットクリエイターズ、日刊デジタルクリエイターズ、クリエイターズステーション、クリエイターズワールド、デジタルハリウッド、岩崎学園、WAO などに協力を打診。それぞれの Web サイトやメールマガジン等で本プログラムの告知協力を依頼する。協力団体として Web サイト・チラシ等に団体名を記載する。

※フォーラムイベントの後、NPO 等の寄付を集めたいプロジェクトの「WEB ページ」と、個別プロジェクトの WEB ページを紹介する「フライヤー」の作成を開始する。制作期間は 3~4 週間とする（10月上旬~10月下旬）。

個別プロジェクトの WEB ページを紹介する「フライヤー」は、主に、寄付を集めたいプロジェクトを主催する NPO 等が中心となって配布することを想定。

<フェーズ③>：寄付集め、プロジェクト好感度 WEB 投票開始（11月1日~11月30日）

GOAL: 共感を呼ぶ寄付アクションを選定するコンテストの表彰式（12月1日）

NPO 等の寄付を集めたいプロジェクトの「WEB ページ」と、個別の寄付募集プロジェクトの内容と、掲載 WEB ページを紹介する「フライヤー」が 10 月下旬に完成。11 月 1 日に「特設 Web サイト」（かなチャリ Web 内を想定）に、それぞれのプロジェクトの「WEB ページ」と「フライヤー」を紹介するコンテンツを掲載し公開。一般市民より「共感度」「好感度」「デザイン性」等を評価する投票ができる仕組みを、facebook や twitter と連携させて作成する。投票期間は 11 月 1 日から 11 月 30 日の 1 カ月間とする。

12 月 1 日（NPO の日）に、コンテストの結果を発表し、表彰式を行う。審査は、一般審査（事前の WEB 投票）・審査委員の両方で行われる。当日、会場で、審査委員により「グランプリ」「準グランプリ」「特別賞」を決定。一般投票により「共感賞」等を決定する。内容は、基調講演もしくは審査委員によるトークセッションと、12 の寄付募集プロジェクトの紹介、（審査委員の審査タイム）、表彰式、交流タイムとする。会場の様子は USTREAM 等で広く発信する。

▽「コンテスト（投票呼びかけ）・表彰式告知チラシ」（10 月下旬から配布開始）

12 の対象プロジェクトを紹介する「特設 WEB サイト」を紹介し、投票を呼びかけるとともに、12 月 1 日に開催する「コンテスト表彰式」を告知するためのチラシを作成・配布。

## (ウ) 規模・回数や実施場所などの計画

### <現場イベント>

- 「クリエイター向けセミナー」(9月中、4回実施、10~20人程度/1回)

クリエイター向けセミナーは県内4カ所(「横浜・川崎及び横須賀三浦地域」「県央及び県北地域」「足柄上及び西湘地域」「湘南地域」)で開催。実施場所:各地域の市民活動支援拠点等。

- 『共感を呼ぶ「NPOのクリエイティブフォーラム」』(10月上旬、150~200人程度)

NPO広報担当者・ファンドレイジング担当者と、NPO活動を支援したいクリエイターを対象とする。実施場所:神奈川県民センター等。

- コンテスト表彰式(12月1日、150~200人程度)

名称案:「Challenge Charity Action!! ~共感を呼ぶ「チャリティーアクション」コンテスト~」

一般審査・審査委員の両方で行われた「グランプリ」「準グランプリ」一般投票による「共感賞」などを発表

### <印刷物>

- 「NPO等の寄付を集めたいプロジェクト募集チラシ」(5000枚)

- 「クリエイター募集チラシ」(5000枚)

- 「コンテスト(投票呼びかけ)・表彰式告知チラシ」(5000枚)

各5000枚を印刷。県内市民活動支援施設等に配布。

- 個別プロジェクトのWEBページを紹介する「フライヤー」(2000枚)

12プロジェクトごとに個別に作成。寄付を募集しているプロジェクトの価値や意義を支援クリエイターがデザインする。10月下旬に各プロジェクト毎に2000枚を印刷。主にプロジェクト主催団体が寄付見込み者に対して配布。「コンテスト表彰式」参加者にもセットにして配布。

- 「クリエイター向けセミナー」配布資料(25部×4回=100部)

ゲスト講師が用意する資料に加え、神奈川のNPO等の活動を紹介する資料を用意する。

- 『共感を呼ぶ「NPOのクリエイティブ」フォーラム』配布資料(200部)

基調講演、パネルディスカッションで登壇者が投影する資料を資料としてとりまとめる。神奈川のNPO等の活動を紹介する資料も用意する。

- 「コンテスト表彰式」配布資料(200部)

式次第、基調講演 or トークセッションの際の投影資料と12の寄付募集プロジェクトを紹介するフライヤーのセット。

## ■「共感を呼ぶNPOの寄付アクション実践例・ヒント集」(PDF版)

表彰式終了後に、今回のコンテストで受賞した優れた情報デザインの事例や、海外の事例などを紹介する、NPO等が活用できる「事例集・ヒント集」を編集・発行する。PDF版を作成し誰もがダウンロードして使用できるようにする。

【参考】子育て支援に取り組む方々のための事例集・ヒント集(県提案型協働事業、神奈川県県民局青少年部青少年課企画グループ) <http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/attachment/170382.pdf>

### 3 事業の効果

■NPOの価値ある公益的活動の意義を、共感を呼び起こす情報デザインで伝えることで、広く県民や企業の寄附を集めることに貢献できる。

■神奈川の「寄付」に関するムーブメント、多主体の協働案件の先端事例としてメディアで紹介されることが期待できる。過去に例が少ない、クリエイティブとNPO活動のマッチングにより寄付を集めるアクションと、コンテストを同時に行う事で、メディアのパブリシティ効果や、ソーシャルメディアでの口コミ的発信が期待できる。

■本プログラムは、実施の各フェーズで、デジタルとアナログの両面からの情報発信を行っていく。短期的に寄付やNPOの活動の意義を、市民に訴求することが可能で、寄附への動機付け、きっかけづくりにより、寄附の経験が少ない(ない)市民のアクションを喚起することが出来る。

■事業後にも、発掘できたクリエイターとNPO等との継続的な連携関係が継続していくことが期待できるほか、「寄附促進に向けたNPO認知度向上事業」の一環として新たに展開する「寄付の仕組みの充実」「次世代に寄付への理解を広げる学習プログラムの開発・普及」、「NPOへの寄付の定着を促すプログラムの実施」に関連するNPO団体のほか、神奈川県で進行中の「新しい公共支援事業構成事業」を推進する会議体等の情報デザインについてのニーズに対してもマッチングができる公共の担い手意識を持ったクリエイターのバンクが構築できる。

■「共感を呼ぶNPOの寄付アクション実践例・ヒント集」や、「特設WEBサイト」を通じて、寄付集めに必要な情報デザイン、WEBとソーシャルメディアをフルに活用した情報発信についてのノウハウが広く社会に共有される。

### 4 事業成果の把握

#### (1) 成果の把握

▽寄附を募るプロジェクトを運営するNPO等からのヒアリング調査結果

12の団体がプログラムを通じて集められた寄付の金額の把握

プロジェクト推進の過程で得られるエピソードの抽出

団体側の満足度、不満だったポイント等の抽出

▽参加したクリエイターからのヒアリング調査

クリエイター側の満足度、不満だったポイント等の抽出

・アンケートの実施を検討

事業実施前・実施後に参加NPO等とクリエイター向けに「アンケート」を実施し、情報の編集・発信や、寄付集めにおける課題や、プログラムの満足度などを抽出する

アンケート項目案

- 1) コンテスト参加前と参加後で、NPO法人に対する理解が深まった/クリエイティブの必要性を認識した
- 2) 自団体の告知やPRにウェブサイトが役立った(寄付獲得、協力者獲得、会員数の増加)
- 3) 寄付を集めるプログラムへの参加を通じて新しい出会いの機会が得られた
- 4) 情報コミュニケーションの技術を得ることができた



## (2) 提案者の自己評価

事業開始時に、委託側と協議の上、数値目標等を設定し、初期、中間時点、終了時の3回、自己評価を行う。

当 NPO の会員を対象にした、本プログラムの報告会を実施。忌憚ない意見を受ける。

- ・次年度も参加したいと考える NPO の団体数、クリエイターの数

## 5 事業の実施体制

(この事業に関する責任者、それぞれの経験、従事者の人数などについて記入してください。)

### (1) 総括責任者

杉浦裕樹：NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボ 代表理事、ヨコハマ経済新聞 編集長。2002 年にまちづくりや地域情報化を実践する NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボの活動を開始。「協働・連携」による地域活性化や、地域のメディア・情報デザインを実践している。現在、かながわ東日本大震災ボランティアステーション事務局副代表として東日本団震災復興支援の「情報ボランティア」のコーディネートを担当している。共著に「ネット時代のパブリック・アクセス」世界思想社 (2011/3/31)。

### (2) 個別事業の責任者

▽編集部事業：宮島真希子 (横浜コミュニティデザイン・ラボ理事)

2010 年、神奈川新聞に 22 年勤務後退職。2010 年に実施した総務省交付金事業「横浜ストリーム」では、地域の発信者を育成するワークショップを企画し、人材育成を担当。紙媒体の活用、ニュースリリースなどについても助言が可能。さらに、自身も子育て支援 NPO 法人「シャーロックホームズ」理事として、神奈川県「子育てポジティブキャンペーン」において、神奈川県として初めての公式ツイッターアカウントの導入をアドバイス。

### (3) (1), (2) 以外の従事者

- ・イベント、NPO-クリエイターマッチング担当 (プロジェクトコーディネーター)
- ・WEB メディア構築・運営、印刷物制作 (アシスタントコーディネーター)

### (4) 実施体制図

◆「チャリティアクションコンテスト」事務局=====「県民活動部 NPO 協働推進課」

| ▽横浜コミュニティデザイン・ラボ

| ・事業内容の検討、各種連絡調整

| ・特設 WEB サイトの構築、管理・運営

| ・イベント、セミナーの運営

◆ 協力団体等

● 関東 ICT 推進 NPO 連合会参加団体

● デザイナー、クリエイター等向け媒体、WEB コミュニティ、スクール等と連携を図る

● 地域のメディア社・Web サイト運営団体などをメディアパートナーとして連携を図る

● 委託・事業推進側の担当者とは、毎月 1 回の定例会議を実施する

※事業の推進においては、プロボノ、インターン学生の参加を積極的に受け入れる

## (5) 個人情報の取扱いに関する方針及び体制

(個人情報の取扱いに関する方針等の概要、責任者の配置などについて記入してください。)

個人情報の収集、利用及び提供、管理及び廃棄について、神奈川県個人情報保護条例に基づき、適切に取り扱う。また、「神奈川県情報セキュリティポリシー」の情報セキュリティ基本方針を遵守する。

サイト運営を通じて個人情報を収集するにあたっては、あらかじめ個人情報を取り扱う目的を個人情報事務登録簿において明確にしたうえ、その取扱目的を達成するために必要な範囲内で行う。個人情報は、法令等の規定に基づく場合や本人の同意がある場合など一定の例外にあたる場合を除き、取扱目的以外の目的に利用したり第三者に提供したりしない。

収集した個人情報については、厳重に管理し、漏えい、改ざん等の防止に適切な対策を講じる。取扱目的に関し保存の必要のなくなった個人情報については、確実に、かつ、速やかに消去する。

既に個人情報保護のための講座等を受講している総括責任者を個人情報の扱い責任者とする。

また、業務に関わるスタッフにおいては情報セキュリティについての講習を行い、管理体制を整え、役割や手順を定め、県へ必要な報告を行う。

ソーシャルメディアの活用に関しては、専門家の助言を得て、十分な配慮をもって、コンテンツを作成する。投稿に関しては、県と協議の上投稿ルールを作成し、常に投稿者が投稿ルールを見られる環境をつくる。

重要情報の管理に関しては、責任者、取扱者の指定、使用するパソコン等の指定とセキュリティ設定、禁止事項などについて委託側と協議の上、チェックリストを作成し、定期的にチェックを行う。また、個人情報を扱う業務を再委託する場合は、委託側に承認依頼を提出する。

・個人情報責任者：杉浦裕樹（NPO 横浜コミュニティデザイン・ラボ代表理事）

7 事業のスケジュール

<24年度>	事業実施内容
平成24年4月	年間事業内容詳細検討、実施計画の策定 県担当者との編集会議 開始 以降、回定期的に編集会議を実施する <NPO 向け活動>                      <クリエイター向け活動>                      <共通の活動>
平成 24 年 5 月上旬	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         県内の中間支援組織から優れた NPO・取り組み・プロジェクトの推薦を頂く                     </div>
平成 24 年 5 月下旬	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         NPO 募集告知開始 (NPO 募集のチラシ配布を実施)                     </div>
平成 24 年 6 月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         NPO 募集の広報実施                     </div>
平成 24 年 7 月	
平成 24 年 8 月	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">                             NPO の対象プロジェクト (団体) の発表                         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">                             クリエイター募集開始                         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">                             クリエイター募集 &amp; フォーラム告知用チラシ配布                         </div> </div>
平成 24 年 9 月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">                         クリエイター募集広報 (神奈川県内 4 地域にてクリエイター向けセミナーの開催)                     </div>
平成 24 年 10 月上旬	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">                             「共感を呼ぶ” NPO のクリエイティブ”」フォーラム                         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">                             プロジェクトを公開、投票・寄附受付開始                         </div> </div>
平成 24 年 11 月 20 日	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">                         チャリティーアクション表彰式の広報                     </div>
平成 24 年 12 月 1 日	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">                         表彰式の開催                     </div>
平成 24 年 12 月～	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">                         報告チラシの配布                     </div>
平成 25 年 2 月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">                         事業成果のとりまとめ                     </div>

## 収支予算書&lt;24年度&gt;

科 目	金 額 (円)	備 考 (積算基礎等)
(収入の部)		
委託料	3,000,000	
収入合計 (A)	3,000,000	
(支出の部)		
プロジェクトマネジメント費	900,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>■5万円×10カ月 チーフコーディネーター</li> <li>■4万円×10カ月 アシスタントコーディネーター</li> </ul>
現場イベント運営費	450,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「クリエイター向けセミナー」(9月中、4回実施、10~20人程度/1回) <ul style="list-style-type: none"> <li>-会場費、運営費 1.25万円×4回=5万円</li> <li>-講師謝金: 2.5万円×4回=10万円</li> </ul> </li> <li>■『共感を呼ぶ「NPOのクリエイティブフォーラム」』(10月上旬、150~200人程度) <ul style="list-style-type: none"> <li>-会場費、運営費: 5万円</li> <li>-ゲスト謝金: 2.5万円×4人=10万円</li> </ul> </li> <li>■コンテスト表彰式(12月1日、150~200人程度) <ul style="list-style-type: none"> <li>「Challenge Charity Action!! ~共感を呼ぶ「チャリティーアクション」コンテスト~」</li> <li>-会場費、運営費 5万円</li> <li>-ゲスト謝金: 2万円×5人=10万円(コンテスト表彰式審査委員謝金、WEBへのコメント・メッセージ提供謝金を含む)</li> </ul> </li> </ul>
委員会謝礼金	50,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>■NPO等の対象プロジェクト選考委員会(5月~6月中旬に就任を依頼)県内中間支援組織、マスメディア関係者、学識経験者、一線で活躍するクリエイター等からなる選考委員を選定 <ul style="list-style-type: none"> <li>-1万円×5名=5万円</li> </ul> </li> <li>■コンテスト表彰式審査委員謝金 0円 ※コンテスト表彰式ゲスト謝金に含む</li> </ul>

フライヤー作成費	600,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>■個別プロジェクトのWEB ページを紹介する「フライヤー」(2000 枚、A6 版、4c/4c) 60 万円 (印刷費: 2 万円+デザイン費 3 万円) × 12 プロジェクト</li> </ul>
チラシ作製費	300,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「NPO 等の寄付を集めたいプロジェクト募集チラシ」(5000 枚、A4 版、4c/4c)</li> <li>■「クリエイター募集チラシ」(5000 枚、A4 版、4c/4c)</li> <li>■「コンテスト(投票呼びかけ)・表彰式告知チラシ」(5000 枚、A4 版、4c/4c) デザイン費各 4 万円×3 回 12 万円 印刷費各 4 万円×3 回 12 万円 配布費: 3 回合計 ※基本的に神奈川県配布ルート想定 6 万円</li> </ul>
セミナー・フォーラム・表彰式開催費	100,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「クリエイター向けセミナー」配布資料(20 部×4 回=約 100 部) 作成費: 1 万円×4 回 4 万円</li> <li>■『共感を呼ぶ「NPO のクリエイティブ」フォーラム』配布資料(200 部) 作成費 2 万円</li> <li>■「コンテスト表彰式」配布資料(200 部) 作成費 4 万円</li> </ul>
事例集作成費	50,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>■共感を呼ぶ NPO の寄付アクション実践例・ヒント集(PDF 版)作成費 5 万円</li> </ul>
報告書作成費	50,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>■作成費 5 万円</li> </ul>
特設 WEB 作成費	400,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>■デザイン・コーディング、ソーシャルメディア設置管理費等 40 万円</li> </ul>
旅費-取材交通費等	30,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>■県内移動交通費 3 万円/年</li> </ul>
消耗品費	20,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>■資料コピー代等 2 万円/年</li> </ul>
通信費-サーバ管理費(4 月~3 月)	50,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>■サーバホスティング費、その他通信費 5 万円/年</li> </ul>
支出合計(B)	3,000,000	金額はすべて税込み
収支差額(A-B)	0	

※ 4 ページの「対象となる経費」を参考に記入してください。